



世界の ミカタタイムズ



発行：学校から世界のミカタを考える会

「寒い」と思ったら世界に目を向けよう。観測史上最低気温は-89.2度ですよ！

対外的な活動が増えてきました！

1月は開発教育のネットワークに関わる協議会への団体としての出席、開発教育指導者研修をJICA九州に協力する形での実施という2つの大きな活動がありましたので報告いたします。

1月14,15日に東京のJICA地球ひろばで開催された「国際理解教育/開発教育実践者向けネットワーク協議会」に参加してきました。これは開発教育を実践している先生やその団体が専門家も交えて勉強や情報交換を行う会です。

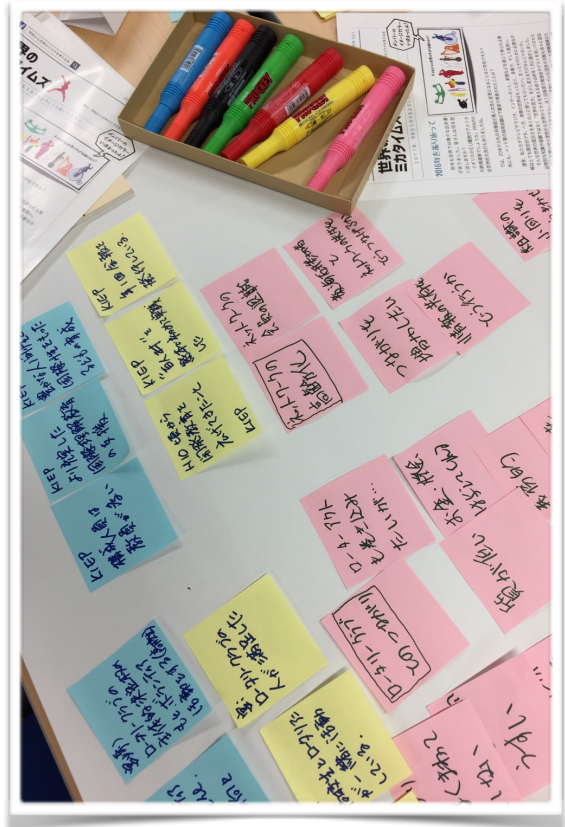
研修に参加してみて活発な団体には主に2つの特徴があることに気づきました。一つは、独自教材の開発をしっかりと行っていることです。これにより、魅力的で充実した開発教育の実践ができ、「もう一度やってほしい！」「今度はこちらの学校でも！」というように活動機会の連鎖を生むことができます。もう一つは、実践力を高める仕組みをもっていることです。例えば、団体内部で経験を積むための場がある場合は、内輪で練習を積み、自信を持った状態で実践に取り組みます。また、相互に指導をし、高め合うことで、自然発生的に開発教育の指導者が生まれ、人材育成ができるようになるという好循環が生まれていました。

今回の気づきを生かし、これからますますミカタの活動を活性化していきたいと思っています。

同じく1月14日に全面協力をする形で「JICA九州開発教育指導者研修」を佐賀県にて実施しました。この研修は全国的には様々な地域で実施されていたものの、九州では開催されていなかったもので、ミカタの働きかけによって今回実施する運びになりました。

講師は代表の糀（こうじ）が行い、開発教育を実施するにあたっての素地となるくファシリテーション※裏面参照>についてワークを通じて実践的に基礎的なところから身につけてもらい、最後にファシリテーションスキルを活かすことができる開発教育手法の一つとしてくフォトランゲージ>を体験してもらいました。会場は定員いっぱいの20名で、「開発教育の場だけでなく様々な場面で活用できそうだ」「実践的なもので、今日から役立てたい」といった意見を多くいただきました。

参加者の動きや、反応からこちらが学ぶことも多く、今後も可能であれば続けていきたい事業であると感じました。



参加者同士のワークの様子@JICA地球ひろば

教えてちよっとだけ！
国際理解教育入門

ファシリテーションって何？(その1)
なんで国際理解教育と関係があるの？

<ファシリテーション>ってご存知ですか？
話し合いをするとき、あるいは複数人で学習をする(ものを考える)ときに「あー、上手くまとまらないなあ」「調整してくれる人がいたらいいのになあ」って思ったことはありませんか？ファシリテーター(ファシリテーションをする人)はそんな時に活躍します。話し合い(学習)の場作りをし、話しやすい雰囲気をかもしだし、出てきた意見を上手に組み立てて、みんなが納得する答えに導くのがファシリテーターの役目です。
大企業が重要な会議を行う時にはプロのファシリテーターを呼ぶなんていう話を聞いたことがありませんか？そのぐらい何かを決めたり、意見を出したりといった場面ではファシリテーターの存在は重要なんです。
「どうして国際理解教育の話でファシリテーションのことを取り上げているんだろう」と思われた方がいたら、ちょっと考えてみてください。国際理解教育が取り上げる問題ってどんなものでしょう？
例えば、貧困、戦争、医療、教育、ジェンダー、人権、環境など国際社会が直面している様々な課題をイメージしてみてください。それらに答えはありますか？
そうです、ほとんどの場合は答えがありません。
まだ答えがない課題や、今まさに直面している問題についての解決策を考える教育活動が国際理解教育です。だから、漠然とした話や問題、あるいは物事を整理し答えを探すためのファシリテーションスキルがその実施にあたって必要不可欠なのです。
次回からはファシリテーションの4つのステップや、実施するにあたってのポイント、ちょっとしたテクニクなどについてしばらく紹介していくつもりです。
続けて読めば、ファシリテーターになれる！かも？

！ミカタまんが！
スミマセツ 星人
日本人のフジキ



今日の写真

これはなんでしょう？



ヒントは飲み物ではありません。そしてデザートでもありません。

紙面の都合上サイズが小さくなっていますので、大きな写真は世界のミカタのホームページでご確認ください。

娘の偏食。

1歳の娘は、野菜や魚介類が大好きですが、残念なことにお米をほとんど食べません。炭水化物が少なく栄養が偏るのではと心配し、様々な工夫をしましたがうまくいきません。挫折しそうになったころ思い出したのが、マイクロネシアでの食事。ホームステイ先ではタロイモが主食としてだされていました。そうか、主食は米だけじゃない！ということで、世界の主食を食卓に出すようにしたところ、娘はとうもろこしが気に入ったようです。

世界に目をむけたとたん、お米への執着から解放され、心がとても軽くなり、子育てが一層楽しくなってきました。娘がお米を食べる日はいつか来るだろうと心に余裕をもって、今は色々な世界の主食にチャレンジしていこうと思います。

